

1 はじめに

小売店舗の収益性を向上させるためには、販売機会ロスを無くすと共に、不良在庫を抱えないように商品の品揃えを行うことが重要である。このためには、消費者の購買行動を考慮した適切な商品発注を行う必要がある。

そこで本研究では、曜日や祝日等のカレンダー要因及び気温や風速等の気象要因を対象に購買に与える影響を分析する。具体的には、来客者数に与える気温と降水量の影響について分析することとする。

2 来客者数データ及び気象データ

来客者数データは、東京のある食品スーパーの 2007 年 10 月 1 日から 2008 年 9 月 30 日までの 1 年間のデータを使用した。

気象データは、気象庁がホームページで公開している下記の 8 項目を使用した。

項目：降水量、風速、気温、日照時間、積雪量、気圧、湿度、天気

また、カレンダー要因として下記の項目についても来客者数に与える影響を分析した。

項目：曜日、月、GW、お盆、年始、年末、祝日

3 来客者数に与える気温の影響

図 1 に気温と来客者数の関係を示す。なお、ここでの来客者数とは気象やカレンダー要因をもとに重回帰モデルを構築した後、気温以外の要因の影響を除いた来客者数である。

また、図中に示す◇印は夏の季節の場合で、□印は冬の季節の場合である。

図から、気温が上昇すると来客者数が増加する傾向にあることが分かる。特に、夏は冬よりもこの傾向が強く表れている。

その他、最高気温が 30℃以上となる真夏日に外出が少なくなるような傾向は見られなかった。

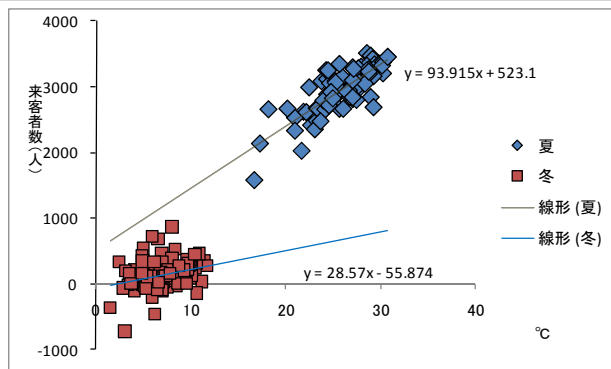


図 1 気温と来客者数の関係

4 来客者数に与える降水量の影響

図 2 に降水量と来客者数の関係を示す。なお、来客者数は気温の場合と同様に、降水量以外の要因の影響を除いた来客者数である。

図から、降水量が増えるに従って来客者数が減少していることが分かる。ただし、その減少傾向は降水量が少ないところで大きく、降水量が 20mm を超えるとほとんど変わらないことが分かった。

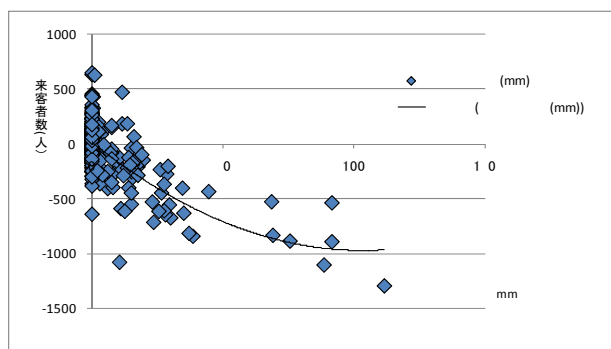


図 2 降水量と来客者数の関係

5 おわりに

来客者数に与える気温と降水量の影響について分析を行い、その影響を明らかにした。

今後は、より詳細に影響を把握するために他の小売店舗についても同様の分析を行う必要がある。

キーワード： 来客者数 気温 降水量

参考文献： 「POS と気象」 奥山和彦

気象庁 気象統計情報

<http://www.data.jma.go.jp>